



しかし、問題は、何かしら、やりきれ  
なかつた。問題は方針そのものよりも、実行者他が  
トビの不一致をそのままにした我々の問題だ。(読者  
者、何れにしている者になして、(トビ-医療、等)テント  
も、医療相談用と治療用に分けるべきだ。た。(1/3以  
降はそうした)

《一応、一つめくまりがあらた。またまた斗いは深く  
わけたけれども》(外から来た人も含め1/10までに感想  
文(反省)を書き送るよう要請を全員のしたのだが……)

④金竹橋の冬 越冬感想 1/8 支援? Y

あ、おまえはなにをして来たのだと…… 吹雪来るのが  
私に云う 一中厚中世一

23年向、私は何も知らずに何と平和に暮らして来た  
のだらう。私には帰るべき家がいづも有り 睡を取り  
ながら本をよみふけり…… 暮らし飛けて来た。さ  
も、今冬の寒座を知らずして、た以上 俺はもう帰、  
てゆく地点をすてねばならない ひとまり斗い流ける  
しかない。かつでの運動が何と身勝手な 自己限向の  
もとに 住まくりみろけられて来たのか 越冬にきて  
私は何一つ其面なる言葉も行動ももち得なかつた。直  
進、下層社会と呼ばれる社会を脱却するしか把握せずして  
階級、帝国主義等という言葉をはきする、言葉による革  
命運動論しかはけずに考へんできた私。そして、今自  
ら下層社会と呼ばれる地域に 身を投じたわけだけれども  
いまだあまりのテント村が 単なる寮りで終ってしまった  
といえないだらうか。越冬の位置づけ等は未確認のま  
ま 支援当生、労働者との関係の面におよぶかな会話  
しかなされず すぎ去、てしまった状況を我々はどう受  
け止めるのだらうか 日夜更替的な活動のみにあけくれ  
動いた人間のまとまり及び協同性 共闘がばしえられず  
に終、たと思う。それは内郎が他者を、どこか誰う人た  
という意識がけきのもの的存在にするような所がなか  
ったらうか? 私も最初支援と呼ばれる一人であつた  
わけだ。その時私は何をすべきかと、とまどいをおぼえ  
たわけである。内部と外部では意識層がかなり違つた  
わけだけれどもさうい、た問題を、やはり問題として言葉  
等をかわして斗、ていしかなないか考へるわけであつた  
ども 何というか私の場合は、医療とバイトで日夜あ  
げくり、そんな時と気力もなく すぎ去、てしまった事

に深く浸漬して居るのです、昔は冬で やはり現  
情を拒、てしま、た以上 後刻 海井生れれい  
ようなものがあつて 睡めども……やはり運動とい  
ものは 持たせねばならないという地点をも、として  
やはり 共闘、同志と呼べるような人間関係を早く作り  
てして往の内部問題を1/3にまでまじりくすしていこう。

④(帰、て来た道徳用ハがキから)

・私は、貴男方に、テント、テ「なかし」してもらう。ば  
ん29日の夕方、頭に、何かをして、おをたまたま  
お世話になりました。ありがとう。  
・私も一生懸命暮らして来ます。皆さんもどうか、が  
こ寒、て下さい。元旦の朝日新聞から面「寝向方」  
(人間の優先性)と云うのをよみ感じる所がありま  
した。

・回読の数がすくない。下着がほしい。

あとがき=あせつてカッティン、し、またない写さすメ  
ン。いづれも意図、批判を教えて下さい。云、てもら  
てもいいし、論文、題文(?)、書き送、てもらつてもよ  
い。あ、ガリキウ一たるだけの感想を書き忘れた!

④ 外に夢見たのは悪いことだ。木の音も響き  
甘かつたと思う。はじめの方ではテント村内をめぐ  
り、(これは直に出されたが) 迎合ではなく「散村と店  
合という正面の壁」を?とか、1回目はやさしく2回  
目はあつた3回目はやさしく?とか、言葉でいえても、  
たいんむすかしい。越冬に限らず、「酒」のことを解  
決しないとどうしようもないと思ひました。以下略

1/11 文章トウ

金竹橋の冬